

令和6年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

概要	名 称	宮崎県道路公社			所在地	宮崎市橘通東2丁目7番18号		
	電話番号	0985-25-1588			ホームページ	https://www.miyazaki-dk.or.jp		
	設立年月日	昭和46年9月1日	代表者	理事長 大西 祐二	県所管部・課		県土整備部 道路建設課	
	総出資額	2,987,000 千円		県出資額	2,987,000 千円		県出資比率	100.0%
	設立目的	宮崎県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とする。						
要	特記事項	当公社は、地方道路公社法に基づき設立され、これまで有料道路事業を実施している。計画では、令和2年2月末に無料化の予定であったが、国土強靱化の観点から有料道路内の橋梁の耐震対策が急務であると判断し、令和元年10月に国の許可を受け、料金徴収期間を10年間延長することとなった。						

		内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
改革 工 程	① 公社等のあり方見直し	(～令和4年度) ・事業計画の着実な推進 (令和5年度～) ・運営の効率化	橋梁耐震化や津波避難誘導対策を着実に推進するとともに、利用者にとって安全・安心で快適な道路となるよう維持管理を行う。 交通量が新型コロナウイルス感染症等の影響から回復基調にある中、多様な利用促進策の実施による料金収入の確保と経費の縮減に取り組み、健全な経営に努める。	多様な利用促進策の実施による道路料金収入の確保と経費の適正な執行や縮減に取り組み、健全な経営に努める。 橋梁耐震対策を着実に推進するとともに、利用者にとって安全・安心で快適な道路となるよう維持管理を行う。	限られた人員により業務を的確に遂行するため、業務改善や職員間の連携協力等により、運営の効率化を図る。
	経営・事業運営改善	(～令和4年度) ・道路施設等の計画的補修の実施 ・橋梁の耐震対策、津波避難誘導対策の早期実施 (令和5年度～) ・道路施設等の計画的補修の実施 ・橋梁の耐震工事の実施 ・津波避難誘導施設の運用	(計画) 一ツ葉有料道路補修計画(R2策定)に基づき、県と連携を図りながら計画的な補修工事等を行う。 橋梁の耐震対策や津波避難誘導対策の工事を行う。 (実績) 補修優先度の高い、島田橋の補修工事を継続して行った。 橋梁耐震対策については、一ツ葉橋の工事を継続して行うとともに、一ツ葉大橋の工事に着手した。 津波避難誘導対策については、Uターン場(非常待避場)4箇所等の整備工事を完了した。	(計画) 一ツ葉有料道路補修計画(R2策定)に基づき、県と連携を図りながら計画的な補修工事等を行う。 橋梁の耐震対策について、関係機関と調整を図りながら工事を行う。 災害発生時に備え、津波避難誘導施設の運用方法について、公社ホームページ等で周知を行う。 (実績) 補修優先度の高い、島田橋の補修工事を継続して行った。 橋梁耐震対策については、一ツ葉大橋及び一ツ葉橋の工事を継続して行った。 津波避難誘導施設の運用方法については、リニューアルした公社ホームページ等で周知を行った。	(計画) 一ツ葉有料道路補修計画(R2策定)に基づき、県と連携を図りながら計画的な補修工事等を行う。 橋梁の耐震対策について、関係機関と調整を図りながら工事を行う。 災害発生時に備え、津波避難誘導施設の運用方法について、公社ホームページ等で周知を行う。
	② 公社等の経営見直し 財務改善	(～令和4年度) ・料金収入の確保及び経費縮減 ・回数券販売促進活動 (令和5年度～) ・料金収入の確保 ・経費縮減	(計画) 回数券の販売促進等により料金収入の確保を図るとともに、工事費や維持管理経費の縮減に努める。 (実績) 新型コロナの感染予防対策と社会経済活動との両立が図られる中、交通量及び回数券販売額ともに目標値を上回った。 これにより、料金収入については、前年度実績及び目標値ともに上回った。 料金収入の確保を図るため、ホテルやゴルフ場、レンタカー会社等への訪問営業を行う等の利用促進策を実施した。 経費縮減については、道路植栽管理・草刈の生長抑制剤使用による試験施工の継続、立ち枯れしている修景木撤去による維持管理費の縮減等に取り組んだ。 回数券については、チラシの配布やホームページへの掲載などの販売促進活動に取り組んだ。	(計画) 回数券の販売促進等により料金収入の確保を図るとともに、工事費や維持管理経費の縮減に努める。 特に令和5年度は、料金収入の確保のため、イオンモール宮崎と協働して一ツ葉有料道路利用促進キャンペーンに取り組む。 また、道路植栽の適正化を図り、維持管理費の縮減を行う。 (実績) 利用者の視点に立った管理運営及び利用促進に努めた結果、交通量及び回数券販売額ともに目標値を上回った。 これにより、料金収入については、前年度実績及び目標値ともに上回った。 料金収入の確保を図るため、初めてイオンモール宮崎と連携した無料通行券配布キャンペーンを実施する等一ツ葉有料道路の利用促進に努めた。 経費縮減については、令和6年1月から回数券の販売手数料率の引き下げを行うとともに、立ち枯れしている修景木撤去や防草シート施工による除草面積減による維持管理費の縮減等に取り組んだ。 回数券については、販売委託先の新規開拓を積極的に行い、5カ所増やして52カ所にするなど販売促進活動に取り組んだ。	(計画) 回数券や別納券等の販売促進等により料金収入の確保を図るとともに、工事費や維持管理経費の縮減に努める。 料金収入の確保のため、昨年度に引き続き、イオンモール宮崎と協働して一ツ葉有料道路利用促進キャンペーンに取り組む。 また、道路植栽の適正化を図り、維持管理費の縮減を行う。

③ 県と公社等の関係見直し	組織等適正化	・適正な執行体制の確保	(計画) 県派遣職員の継続配置と、プロパー職員の育成により、適切な組織体制を確保し、効率的な業務執行を行う。 (実績) 県派遣職員を継続配置するとともに、プロパー職員を2名採用し、適切な組織体制を確保し、効率的な業務執行に努めた。	(計画) 県派遣職員及び再雇用職員の継続配置と、プロパー職員の育成により、適正な執行体制を確保し、効率的な業務執行に努める。 (実績) 県派遣職員を継続配置するとともにプロパー職員2名の資質向上を図り、適切な組織体制を確保し、効率的な業務執行に努めた。	(計画) 県派遣職員及び再雇用職員の継続配置と、プロパー職員の育成により、適正な執行体制を確保し、効率的な業務執行に努める。
	人的支援見直し	(～令和4年度) ・必要に応じた県職員の派遣見直し (令和5年度～) ・必要に応じた県職員の派遣見直し ・県退職者の配置検討	(計画) 高度な専門性を必要とする橋梁の耐震対策事業等を着実に推進するため、県派遣技術職員の配置を前提としながら、適切な組織体制及び職員数を確保し、効率的な業務執行を行う。 (実績) 橋梁の耐震対策事業等を着実に推進するため、県派遣技術職員3名を継続配置した。	(計画) 橋梁の耐震対策等を推進するための高度な専門性を有する県派遣技術職員と、資金管理や財産管理に係る豊富な行政経験や知識を有する県再雇用職員の継続配置により、適正な職員数を確保し、効率的な業務執行を行う。 (実績) 橋梁の耐震対策事業等を着実に推進するため、県派遣技術職員3名を継続配置した。	(計画) 橋梁の耐震対策等を推進するための高度な専門性を有する県派遣技術職員と、資金管理や財産管理に係る豊富な行政経験や知識を有する県再雇用職員の継続配置により、適正な職員数を確保し、効率的な業務執行を行う。
	財政支出見直し				
④情報公開推進		・ホームページでの情報公開の充実	(計画) ホームページの内容充実を図るとともに、SNS(Twitter)を活用したタイムリーな道路情報の発信に努める。 (実績) タイムリーな情報発信を可能にし、情報を閲覧しやすくするとともに、一ツ葉有料道路の魅力を発信するため、公社ホームページのリニューアルに着手した。	(計画) リニューアルしたホームページを活用し、一ツ葉有料道路の利便性や景観等の魅力を発信するとともに、連動した公式SNS(X:旧Twitter、LINE)により、タイムリーな道路情報の発信に努める。 (実績) 令和5年6月にリニューアルしたホームページを活用し、一ツ葉有料道路の利便性や景観等の魅力を発信するとともに、連動した公式SNS(X:旧Twitter、LINE)により、タイムリーな道路情報の発信に努めた。	(計画) ホームページを活用し、一ツ葉有料道路の利便性や景観等の魅力を発信するとともに、連動した公式SNS(X:旧Twitter、LINE、インスタグラム)により、タイムリーな道路情報の発信に努める。

県関与の状況	人的支援		令和5年度				令和6年度			
		(人)	合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
		役員数	4	1	2	1	4	1	2	1
		常 勤	3	1	2	0	3	1	2	0
		非常勤	1	0	0	1	1	0	0	1
		職員数	11	4	5	2	11	4	5	2
	財政支出等	(千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		県委託料	0	0	0	県借入金残高	0	0	0	
		県補助金	0	0	0	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
		県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
		その他の県からの支援等								
主な県財政支出の内容	事業名		事業内容			令和5年度 決算額(千円)	令和6年度 予算額(千円)	種別		
	①									
	②									
	③									
	④									
	⑤									

実施事業	①一ツ葉有料道路の維持、修繕及び管理 ②一ツ葉有料道路北線のパーキングエリアの管理 ③自動車駐車場(31台)の管理
------	---

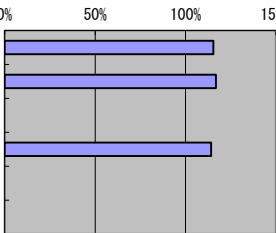
活動指標	指標名	算式（単位）	令和5年度			令和6年度	令和7年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	① 一ツ葉有料道路利用台数	年間の延べ通行台数（千台）	7,162	8,267	115.4%	8,224	8,224
②	有料道路回数券販売活動	年間販売額（千円）	299,013	349,516	116.9%	347,881	347,881
③							
指標の設定に関する留意事項		活動指標①②の令和6年度以降の目標値については、令和5年度の水準を維持する。					

財務状況	収支計算書				貸借対照表			
		(千円)				(千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	収入 A	931,311	998,205	1,109,926	資産 A	22,320,749	22,719,484	23,564,078
	事業収入	910,527	997,808	1,063,846	流動資産	3,854,603	3,622,976	3,879,122
	補助金等収入	0	0	0	固定資産	18,466,147	19,096,507	19,684,956
	上記以外の収入	20,784	397	46,080	負債 B	19,333,749	19,732,484	20,577,078
	支出 B	931,311	998,205	1,109,926	流動負債	184,015	67,535	525,495
	事業費	380,910	309,392	583,155	固定負債	19,149,735	19,664,948	20,051,582
	管理費	119,483	138,620	107,349	正味財産 A－B	2,987,000	2,987,000	2,987,000
	その他の支出	430,918	550,194	419,422	うち基本金	2,987,000	2,987,000	2,987,000
当期収支差額 A－B	0	0	0	うち当期正味財産増減額	0	0	0	

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式（単位）	令和5年度			令和6年度	令和7年度
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値
	① 道路料金収入	（千円）	924,654.5	1,056,965.2	114.3%	1,051,000.0	1,051,000.0
	※ 令和5年度 実績値の算式						
	②						
	※ 令和5年度 実績値の算式						
指標の設定に関する留意事項		令和6年度以降の目標値については、令和5年度の水準を維持する。					

直近の県監査の状況	令和5年度財政援助団体等監査(令和5年10月18日)において、指摘事項はなかった。
-----------	---

総合評価	公社等自己評価	改革工程は、一ツ葉大橋及び一ツ葉橋の耐震対策工事の継続、Uターン場（非常待避場）の利用方法周知等に取り組み、概ね順調に推移している。 活動内容については、利用者の視点に立った管理運営及び利用促進に努めた結果、活動指標の通行台数については達成度115.4%、回数券販売額についても達成度116.9%、とともに目標を上回った。 財務内容については、道路料金収入が目標値を上回り、前年度比較で増収となり、資産状況や資金繰りを含めた財政基盤も安定している。 組織運営については、県派遣職員を継続配置するとともに、プロパー職員の資質向上を図り、適正な業務執行体制の維持を図ることができた。 今後も、公社事業に影響する外部環境の変化に注視しながら、道路料金収入の確保及び経費削減を図る。併せて、橋梁耐震対策に計画的に取り組むとともに、快適な道路の維持管理に努めていく。				県所管部課二次評価	令和5年度は、利用者の視点に立った管理運営及び利用促進に努めた結果、道路利用台数及び道路料金収入は共に目標値を達成しており安定した管理運営が図られている。引き続き、道路料金収入の確保や経費節減に取り組む、経営基盤の強化を図るなど、県出資金の全額償還に努める必要がある。 さらに、国土強靱化の観点から県民の生命・安全・安心な暮らしを守るため、道路等の計画的な補修、橋梁の耐震対策を着実に推進していく必要がある。			
		改革工程	活動内容	財務内容	組織運営		改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
	評価（A：良好、B：ほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い）	A	A	A	A	評価（A：良好、B：ほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い）	A	A	A	A
	目標達成度					公社等改革推進委員会三次評価	活動内容については、いずれの指標も目標値を上回っており、一ツ葉有料道路の適切な管理運営や利用促進の取組による成果として評価できる。 財務内容については、目標値を上回るとともに、前年度より増収となっている点で評価できる。 引き続き、安定した財務運営を維持するとともに、橋梁耐震対策等を計画的に実施し、利用者の安全・安心を守る役割を果たしていくことが求められる。			